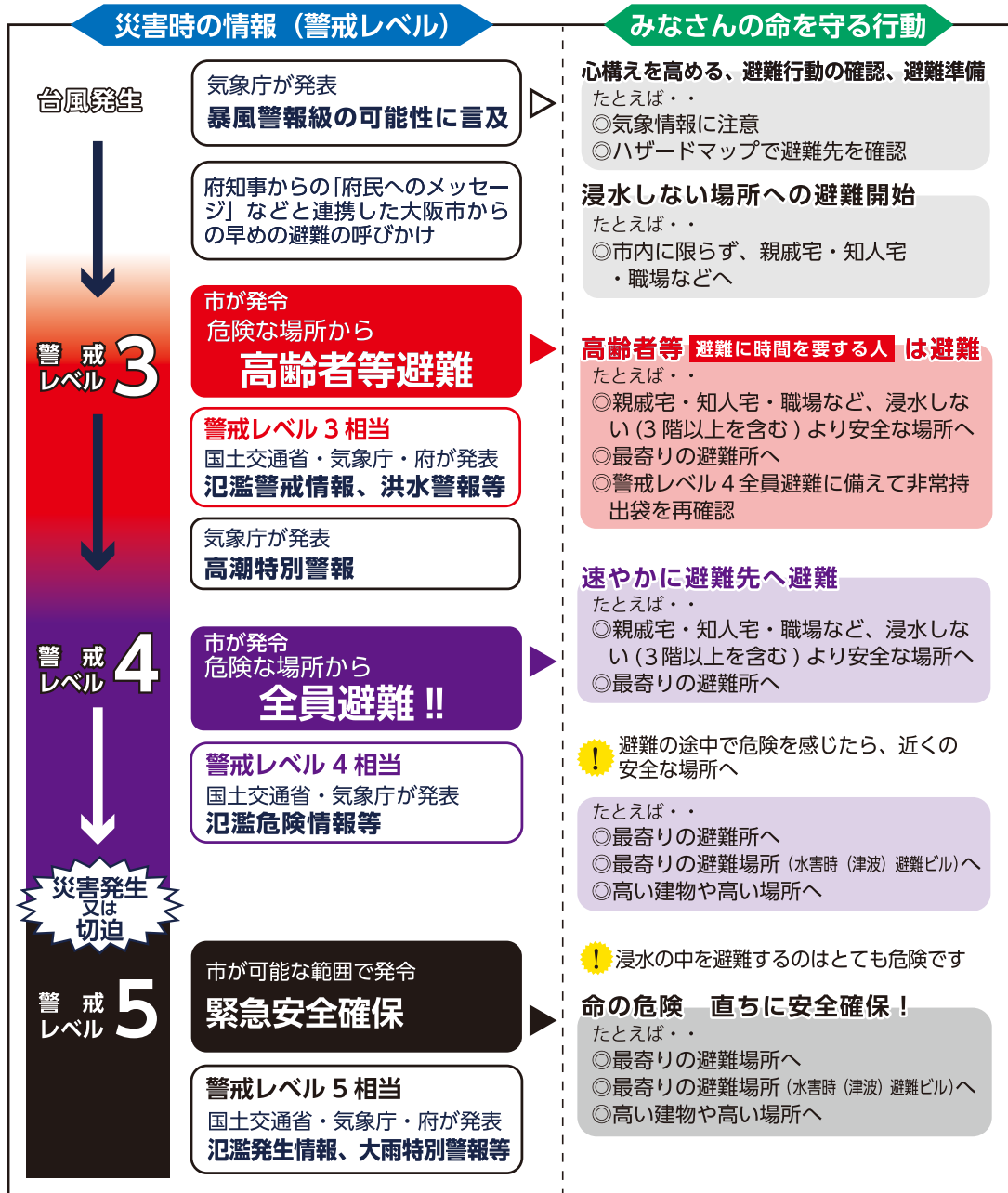


特集

大雨・台風シーズンに備えて

～警戒レベルを活用し、早めの防災行動を～

記録的な台風が近づいている時(高潮)



※ 河川や災害の状況により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応が必要です

初夏から秋にかけては、台風や前線の影響で、大雨、洪水、暴風、高潮等による自然災害が発生しやすい季節です。早めの避難などの防災行動をとることができるよう、気象庁は「防災気象情報」を、市町村は「避難情報」を発表しています。段階的に発表される「災害時の情報(警戒レベル)」を有効に活用し、早め早めの防災行動をとりましょう。

例えば【警戒レベル3】では、高齢者など避難に時間を要する人とその支援者は危険な場所からの避難を開始、その他の人も必要に応じ危険を感じたら自主的に避難。【警戒レベル4】では、危険な場所から全員避難が必要です。

近くの知人宅への避難、自宅待機の判断も



避難先は、公的な避難場所に限りません。近くの家族や親戚、知人宅への避難について、日頃から相談しておいてください。また、風雨の激しい時に避難するのはかえって危険です。安全が確保されているなら自宅で待機することも避難方法のひとつです。

市町村からの避難情報(警戒レベル)が発令された際には、速やかに避難行動をとってください。

※【警戒レベル相当】の気象情報が発表されたとしても、必ずしも同じタイミングで市町村より同じレベルの避難情報が発令されるとは限りません



● 大阪市防災アプリリニューアル

気象情報をリアルタイムで表示

大阪市防災アプリをリニューアルしました。気象情報が充実し、雨雲レーダーや台風情報などがリアルタイムで表示され、降水予測や台風の進路予測も見られます。また、トップ画面を刷新し、避難情報や気象情報が発令されると、警戒レベルに応じてアイコンの色が変化、今欲しい情報がよりわかりやすくなりました。これまでの多言語対応に加え、「やさしい日本語」での情報発信を始めました。

Jアラート発信時の緊急一時避難施設も

国民保護法上の緊急一時避難施設を新たにマップに追加し、Jアラートによる緊急情報の発信時に弾道ミサイル攻撃等から身を守るための場所等を確認できるようになりました。



警戒レベルに応じてトップ画面のアイコンの色が変わる



雨雲レーダーや台風情報がリアルタイムで表示される



Jアラート発信時の緊急一時避難施設が表示される

大阪市防災アプリのダウンロードはこちら▼



Android端末をご利用の方



iPhone、iPadをご利用の方



● 水害ハザードマップの活用を

ハザードマップは、過去に発生した災害の被害状況を元に被害発生状況を予測し、地図に書き込んだものです。北区では淀川の氾濫、高潮、内水氾濫による浸水と、南海トラフ巨大地震による津波被害が主に想定されています。お住まいの地域はどのような災害の危険性があるか、日頃からマップで確認しておきましょう。

ハザードマップは北区役所で配架のほか、大阪市ホームページや大阪市防災アプリで確認できます。



北区の水害ハザードマップの表紙

問 地域課 ☎06-6313-9734 🌐06-6362-3823